

ワイヤレスブロードバンド推進研究会 SIG-Ⅲ（第3回）会合 議事要旨(案)

1 日 時：

平成 17 年 9 月 12 日(月) 14 時 00 分～15 時 55 分

2 場 所：

総務省 低層棟 1 階 第 1 会議室

3 出席者（敬称略）：

〔構成員〕

大森慎吾（主査）、秋山由和、小山敏、柿原正樹、児玉孝雄、関馨、難波秀彰（代理：澤田学）、浜口雅春、堀松哲夫、村上仁己、森山光彦（代理：杉浦孝明）、山本武志

〔事務局〕

田中電波利用料企画室長、金子衛星移動通信課企画官、沼田電波政策課検定試験官、中村移動通信課課長補佐、小泉電波政策課周波数調整官

4 議 事：

- (1) 第 2 回会合以降の電子会議での検討経緯について
- (2) 国内外の動向について
- (3) ニーズ・普及シナリオについて
- (4) ITS 関連システムの実現に係る要求条件の取りまとめについて
- (5) その他

5 議事内容：

- (1) 資料 SIG-Ⅲ-3-1 の第 2 回会合議事要旨(案)について、修正意見等があれば 9 月 16 日(金)までに事務局あて連絡するということでした承された。
- (2) 資料 SIG-Ⅲ-3-2 に基づき、第 2 回会合以降のメールによる検討経緯について事務局から説明があった。
- (3) 資料 SIG-Ⅲ-3-3 に基づき、国内外の動向のとりまとめ方法について関構成員から説明があった。主な議論は以下のとおり。
 - ・ これまでの議論では、アプリケーション・サービスの観点から分類しており、これを意識して整理をお願いしたい。（主査）
 - ・ 現在検討中の標準化を細かく羅列するのではなく、欧米での実用化時期や、技術的検証実験を行ったのか等を意識して調査すると良いのではないか。

(構成員)

- ・ 日本と欧米の標準化は意味合いが異なり、欧米の標準化を見過ぎると、使われないものも含め多岐にわたりすぎるため注意が必要。(構成員)
- ・ 調査を行う標準化については、標準化途中なのか、標準化済みなのか、整理が必要。(構成員)

(4) 資料 SIG-Ⅲ-3-4 に基づき、ニーズ・普及シナリオについて秋山構成員(代理説明：佐藤氏)から説明があった。主な議論は以下のとおり。

- ・ この普及シナリオからそのまま周波数帯幅を算出することは難しい。携帯電話のような広域サービスとは異なり、狭域でのサービスとなり、狭域での自動車数等のモデルを作り検討することも考えられる。(構成員)
- ・ 普及シナリオは、メーカ・自動車メーカの予測を踏まえて出されたものであり、貴重なデータだと考える。(構成員)
- ・ エアバックについては、安全基準の強化という背景で急速に普及したと考えられる。ETCも様々な普及促進策の結果、大幅に普及してきている。普及支援策にも係わるが、ETCについても例として触れた方が良いのではないか。(主査)
- ・ ETC 車載機の普及経過のデータはあるが、まだ 800 万台で普及途上にあり、今回の記述からは外した。(構成員)
- ・ インフラ協調情報提供型が自律型より早く普及が進むという予測になるが違和感はないか。(構成員)
- ・ 自律型とインフラ型は入れ替わるものではなく、補完しあうものである。また自律型は高価であり、カーナビのようにユーザが選択して取り付けるもの。例えば車車間通信については、1 台だけ存在しても意味がなく、多数普及が前提となる。このようにインフラ型は急速な普及の可能性はある。(構成員)
- ・ 現在の普及シナリオでも問題ないということで理解。シナリオの中に本日も指摘があった内容に関する記述の追加をお願いしたい。(主査)

(5) 資料 SIG-Ⅲ-3-5 に基づき、ITS 関連システムの実現に係る要求条件のとりまとめ(案)について事務局から説明があった。主な議論は以下のとおり。

- ・ 新たに開発するシステムについては、既存のシステムではできないことを明確にしたい。また既存のシステムの拡張についても、明確なシステムを想定できるようにしたい。(事務局)
- ・ 車車間通信については、電波の性質から言えば、ARIB STD-T75 に規定されているものでは不十分であり、700/800MHz 帯が最も適している。(構成員)
- ・ 周波数帯の優先度もつけて提案する必要があるか。(構成員)

- ・ システム特性を考慮した場合、ある程度融通が利く場合と、この周波数帯でなければならないという場合もあると考えられる。メリハリをつけて提案いただきたい。(事務局)
 - ・ 候補となる周波数帯については、そもそも割当ての可能性がある周波数帯とそうでない周波数帯とを総務省から教えていただきたい。(構成員)
 - ・ 電波の特性という理由もあるが、国際的な割当てという理由もあるかと考える。新しい周波数帯を希望する場合は、それなりの理由を示してほしい。(主査)
- (6) その他、次回会合は9月下旬又は10月上旬に開催予定である旨が事務局から周知された。また柿原構成員より、9月7日付「車車間通信 周波数統一が難航」(日刊工業新聞)との記事は事実無根であるとのコメントがあった。